

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

|         |                   |            |  |
|---------|-------------------|------------|--|
| 事業所番号   | 0770302644        |            |  |
| 法人名     | 医療法人 ささうち内科クリニック  |            |  |
| 事業所名    | グループホーム ぶなの森 (1F) |            |  |
| 所在地     | 福島県郡山市八山田6丁目45番地  |            |  |
| 自己評価作成日 | 平成22年12月15日       | 評価結果市町村受理日 |  |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

|          |   |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | <a href="http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do">http://www.kaigo-fukushima.info/fukushima/Top.do</a> |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                        |  |  |
|-------|------------------------|--|--|
| 評価機関名 | NPO法人福島県シルバーサービス振興会    |  |  |
| 所在地   | 〒960-8043 福島県福島市中町4-20 |  |  |
| 訪問調査日 | 平成23年2月18日             |  |  |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療連携が図られており、医師や看護師にいつでも相談できる体制がある。入居者様、ご家族様は勿論のこと、職員も安心して業務に従事できている。入居者様の笑顔を大切に、時には家族、時には友達になることで気兼ねなく何でも話して頂けるような関係作り心がけ、また「ぶなの森」の由来にあるように「暖かく包み込む」ケアを大事にしている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

①利用者の「できる力」を引き出し自発的に調理や清掃の役割を持っていただき毎日を有意義に過ごせる工夫と同時に、利用者自身に存在感を感じられるよう支援をしている。  
 ②全職員が日々、自らが提供しているケアの「確認」や「職員同士の切磋琢磨」を通して理想の利用者本位のケアの追及と提供に努めている

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 |  | 取り組みの成果<br>↓該当するものに○印  | 項目 |   | 取り組みの成果<br>↓該当する項目に○印  |
|----|--|--|----|---|--|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる<br>(参考項目:23,24,25)     | ○<br>1. ほぼ全ての利用者の<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんど掴んでいない | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている<br>(参考項目:9,10,19)   | ○<br>1. ほぼ全ての家族と<br>2. 家族の2/3くらいと<br>3. 家族の1/3くらいと<br>4. ほとんどできていない    |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある<br>(参考項目:18,38)           | ○<br>1. 毎日ある<br>2. 数日に1回程度ある<br>3. たまにある<br>4. ほとんどない                  | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている<br>(参考項目:2,20)                     | ○<br>1. ほぼ毎日のように<br>2. 数日に1回程度<br>3. たまに<br>4. ほとんどない                  |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている<br>(参考項目:38)                 | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている<br>(参考項目:4) | ○<br>1. 大いに増えている<br>2. 少しずつ増えている<br>3. あまり増えていない<br>4. 全くいない           |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている<br>(参考項目:36,37)   | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 66 | 職員は、生き活きと働けている<br>(参考項目:11,12)                                      | ○<br>1. ほぼ全ての職員が<br>2. 職員の2/3くらいが<br>3. 職員の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない       |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている<br>(参考項目:49)                | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う                                       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている<br>(参考項目:30,31)       | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う                                   | ○<br>1. ほぼ全ての家族等が<br>2. 家族等の2/3くらいが<br>3. 家族等の1/3くらいが<br>4. ほとんどできていない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている<br>(参考項目:28) | ○<br>1. ほぼ全ての利用者が<br>2. 利用者の2/3くらいが<br>3. 利用者の1/3くらいが<br>4. ほとんどいない    |    |   |  |

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |   |
|--------------------|-----|---|--|---|---|
|                    |     |   | 実践状況   | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |  |   |   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている  | 理念は施設内に掲示してありその人らしく地域で暮らすことの継続支援について再確認を図り目標に向けて実践し取り組んでいる。また、新人職員採用時には法人及びグループホームの理念を伝え理解してもらっている。                                | 事業所の理念「その人らしく・ゆっくり・楽しく・穏かに・地域で暮らすことの継続支援」について全職員が日々確認しながら実践につなげている。   |   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している  | 町内会に加入し、地区の清掃活動に参加し、回覧板を渡しに行ったり交流に努めている。近隣スーパーの店員さんとは顔なじみになっている。地域の中学生の職場体験受け入れもおこなっている。   | 地区の夏祭りや敬老会・球技大会に参加し地域との交流を図っている。また中学生の職場体験の受け入れやボランティアの畑の手入れの協力等の連携も図られている。   |   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている  | 管理者がキャラバンメイトに登録しており、職員がサポーターとしての役割を担っている。市が主催する福祉フェスティバルに参加し、市民の方々にグループホームについて説明し情報提供をしている。クリニック・デイサービス・居宅と連携し相談があればいつでも対応している。    |   |   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、事業所の取組内容や具体的な改善課題がある場合にはその課題について話し合い、会議メンバーから率直な意見をもらい、それをサービス向上に活かしている                        | 定期的に運営推進会議を行い、取り組み状況や予定などを報告し施設の状況を把握している。ヒヤリハット・苦情報告・自己評価、外部評価、介護サービス情報公表制度についてもお伝えし、頂いた意見は全職員に周知徹底、改善に向けて取り組んでいる。                | 会議は定期的に開催され、事業所の運営内容等の報告に対する、意見交換が行われている。災害時の「家族の連絡網の確認の実施」や「ヒヤリハットの要因分析」等の提案をサービス向上に活かしている。                                |   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 管理者がキャラバンメイトに登録しており依頼があれば出張講座に出向いている。また、介護相談員事業を受け入れ協力関係を築いている。地域包括支援センターが主催する介護予防事業にも協力できる体制がある。                                  | 毎月、事業所の利用者数の実態報告や広報誌を送付している。又、市が主催する福祉フェスティバルの会場での案内役やグループホーム講座の講師役を務める等、市の行事へは積極的に参画し協働関係を築いている。                           |   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 職員は身体拘束をしない意識を持って理解し実践している。目の前の道路の交通量が激しく安全確保のため玄関に施錠をやらざるを得ない環境であるも、入居者様とご家族様にはいつでも外出できる事を理解して頂いている。また、入居者様の中には開錠操作を理解している方もおられる。 | 「身体拘束をしないケアの実現」については外部研修・内部研修等で研鑽を積みながら職員全員で身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠については法人を含めて話しあったが、道路の交通量が多く利用者の安全を確保するため施錠せざるを得ないとしている。 | 安全面の理由から玄関に施錠をしているが、関係機関との協議・地域住民との協力を得るなど、ケアのあり方について改善が図られるように期待したい。 |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                     | 全職員が禁止行為などを理解し拘束のないケアを提供している。中でも言葉による精神的な拘束に注意し一人ひとりが考え実践している。入居者の接し方に悩みがあった時は職員間でその都度話し合い更に管理者も相談に応じている。                          |   |   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|---|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 外部研修に参加し、制度に関する資料が閲覧出来るようになっている。現在制度を必要とする対象者はいないも必要な時は活用できるよう支援している。   |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 契約時に事業者の方針やケアの考え方・取り組み・退去を含めた対応可能な範囲について説明し、その都度不明な点に関して納得の得られるまで説明している。入居者様の状態変化により契約解除に至った場合は、ご本人様・ご家族様と話し合い支援を行っている。 |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 入居者様の意見は日常会話から汲み取る他、介護相談員へ悩みや要望等も出されている。面会時や運営推進会議、家族会などでご家族の意見を伺う場を設け運営に反映している。  | 利用者との日常的な触れ合いの中から、不満・要望等を汲みとりユニット会議や全体会議で検討を重ね改善に取り組んでいる。また、家族からは面会時に、積極的に話を聴く機会を作り、出された要望・意見を運営に反映させている。 |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 職員の個別相談を行い、出された疑問、意見等確認し改善に向けて随時対応している。   | 管理者と職員は日常的にケアや運営に関する話し合いを行なっている。他に運営者が職員との個別面談も実施されており、出された意見は運営に反映されている。休憩室が確保された例などがある。                 |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 勤務年数に応じ、研修旅行を行っている。また、新に資格を取得した場合には手当を支給。職場環境についても、代表者自ら確認し整備に努めている。  |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 段階に応じた外部研修に積極的に参加し、勉強会などを行っている。内部研修をもとにレポートを提出し自己啓発に努めている。運営者も参加している。   |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 県グループホーム協会に加入しており、外部研修で他事業者の職員と交流を図る機会があり、情報交換を行っている。個々のネットワーク作りが出来るよう努めている。また、管理者はGH連絡協議会の研修員として活動している。                |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|---|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |   |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 初回訪問時より、ご本人様の思いを傾聴・受容し不安のない対応を心掛けている。また、入所後もセンター方式を活用し職員全体がその思いを把握し、常に気づきアンテナを張る事により、環境の変化による不安が最小限に留まるようにしている。                   |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | ご本人様のみでなくご家族様の思いに対しても一つ一つ傾聴・受容し、どのようなケアが提供できるのか説明し、信頼関係が築けるよう努めている。入所後も担当職員を始め全スタッフが家族とコミュニケーションを図れるように努めている。                     |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | その時々により、ご本人様・ご家族様が必要としているサービス支援に添えられるよう努め、他のサービスが必要となった場合にも、事業所間の連携を密にし生活に支障が出ないよう努めている。  |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 日々の様々な活動の中で、教えて頂く場面を設定しながら共に行い「支えあう」関係作りを大切にしている。心身状態が変わりコミュニケーションが困難になられた場合言葉に出来ない思いを感じ取れるように努めお互いに支えあっている。                      |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 面会時や電話で、心身の変化や生活の様子を随時報告し、対応について共に考え協力していく体制を築いている。また、定期的な面会が難しい家族には、電話を繋いだり行事への参加を積極的に呼びかけたりして、本人と家族の交流を大切にしている。                 |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 馴染みの人の面会時、本人とのコミュニケーションをサポートし、楽しいひとときを過ごしていただけるよう努めている。また、美容院等馴染みの店に外出を行っている。心身状態が変わり、コミュニケーションが困難になられた場合、馴染みの方との関わり方を家族と話し合っていく。 | 馴染みの美容院、スーパーへの買い物の支援、友人や教え子からの手紙の返信や同級会出席のサポート等、利用者のこれまでの馴染みの人や場所の関係が継続出来る支援に努めている。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 利用者同士が声をかけあい、助け合う姿が日常的にみられている。時には仲たがいもあるが、一人ひとりの意思を尊重しながら関係が保てるよう支援している。  |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | ご家族様には退去後も相談可能な体制を整えている。また、転居先から相談があった際は敵宜応じている。   |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |  |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | ご本人様から話を聞いたり、日々の行動を観察し、一人ひとりの思いや希望等の把握に努めている。また、ご家族様にも情報を得ながらご本人らしさが発揮できるよう本人の立場に立ったケアに取り組んでいる。                                  | 利用者や家族から話を聴き思いや意向の把握に努めている。又、意志の表出が難しい利用者については職員間で話し合い、利用者の立場に立ったケアを検討している。                  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 入居者様との会話の中から情報を得、ご家族様、職員間で情報を共有し、センター方式紐解きシートを活用しケアプランに反映している。   |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 記録だけでなく、カンファレンスや連絡ノート、センター方式を使いながら、入居者の24時間を把握し、出来ることや解る力を連絡しあっている。両ユニットの申し送りに参加し状況把握にも努めている。                                    |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 毎月、計画作成担当者と居宅担当者がモニタリングを行っておりカンファレンス時に全体で見直しを行っている。その際にセンター方式やひもときシートを活用している。またご家族様からは、面会時に要望等を伺い介護計画に反映している。必要時には、主治医の意見を伺っている。 | 利用者・家族の意向、利用者の心身の状況を確認し、関係する職員間で医師の意見等の情報や、気づき・アイデアを集めたひもときシート等を活用しながら実情に即した介護計画の見直しを行なっている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | ケース記録を使用し、日々の様子や行動をスタッフ間で共有し、話し合いのもと介護計画の見直しを行っている。  |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 現状のニーズに対応できるよう、ご本人・ご家族様にその他のサービスの多機能化に取り組んでいる。   |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価  | 外部評価   |   |
|----|------|---|---|--|---|
|    |      |   | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容   |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 運営推進会議に、民生員、町内会の方に参加して頂き、グループホームへの理解と協力を得られるよう取り組んでいる。今夏は地区の盆踊りに参加。その他でも多種多様な地域資源を把握し行事には積極的に参加する姿勢で、入居者様が地域の中で暮らしを楽しめるよう努めている。 |  |   |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 入居者様のほとんどが母体HPで受診しており往診体制を取っている。本人の状態に適した医療受診ができるよう他科受診も行い、経過や結果をご家族様、主治医に報告している。受診の付き添いはご家族様が行っているが難しい時は職員が行う時もある。             | 利用者の殆どが、事業所を運営する法人の内科クリニックで受診している。受診には家族が付き添い、受診結果は事業所も報告を受け共有している。又、内科の往診と歯科の訪問診療が週1回行なわれている。 |   |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 看護師を配置している。入居者様一人ひとりの体調の変化や異変が見られた際には速やかにNSIに報告、相談し、指示のもと対応している。受診を要する際には看護師が詳しい情報提供を作成し、他科との連携を図っている。                          |  |   |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 退院後のケアに支障が出ないよう職員は面会に足を運び、病棟NSから聞き取りや、ご本人の状態確認を行っている。また、MSWと連絡を取り退院後の方向性について話し合いをしている。  |  |   |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | ご本人、ご家族の意思を段階毎に確認し、対応方針について主治医、管理者よりスタッフへその都度連絡し、現状に応じた対応を共有し、行っていけるよう取り組んでいる。エンジェルケアについての勉強会も行った。看取りの研修にも参加した。                 | 利用者・家族等に重度化対応指針、看取りに関する指針を説明し同意を得ている。早い段階から家族・医師・看護師・職員が連携をとりながら、十分なケア体制が取れるように努めている。          |   |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 緊急時マニュアルが各職員に配布して事務所内にも掲示してある。各職員が外部研修に参加し、応急手当や初期対応について知識・技術を高めている。  |  |   |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 避難訓練を定期的に行っている。(夜間を想定したものを含む)訓練後は職員全体で反省点を話し合いより良い避難方法を検討している。また、時には消防職員立会いのもと訓練実施し、助言指導を受けている。                                 | 2ヶ月に1回、避難・通報・消火などの訓練を実施している。昨年4月には消防署立会いの下、訓練を実施し指導を受けている。地域住民の訓練参加は現在要請中である。                  | 安全な避難方法の確立や避難の所要時間の短縮を身に付けるためにも、訓練回数を増やすと共に、地域の住民の参加が早く実現するよう期待したい。 |

| 自己                               | 外部   | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|---|--|--|-------------------|
|                                  |      |   | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |   |  |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                      | 尊重の気持ちを常に念頭におきながら、プライバシーや羞恥心に配慮した声掛けや対応を心がけている。不適切な対応があった際にはスタッフ同士で注意喚起している。   | 利用者を尊重した丁寧な言葉掛けや対応をしている。お通じの報告や誘導などは小声で行なう等、日常のケアでプライバシーを損ねる事の無い様、全職員が互いに注意を喚起する等して対応している。               |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                        | 日常生活すべてにおいて、ご本人が自己決定や選択ができるよう場面設定を行っている。言葉での表現が困難な方に対しても、表情、仕草等で表出できるよう支援している。   |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している    | 起床、食事、入浴等、一人ひとりの心身状態タイミング、ペースに応じて過ごして頂けるよう支援している。好きな時に趣味を楽しんで頂いたり、レクリエーションや作業を行って頂いている。                                    |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                     | ご本人と量販店に出向き、好きな色柄物を選んで頂いている。またご家族様は季節毎に衣類の入れ替えをして下さり以前ご自分で購入された衣類などを持ってきて下っている。美容室にかかる際は、思い思いにヘアスタイルを注文している。               |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事に関連した作業を利用者とともに職員が行い、一緒に食事を味わいながら利用者にとって食事が楽しいものになるような支援を行っている | その方の状況に応じてできる事を苦痛のないように、また気分良く行って頂けるように言葉掛け等に注意しながら支援し、食材選び、後片付けまで一連の行為を入居者様、スタッフが一緒に行っている。畑でとれた野菜もメニューに取り入れ季節感を味わって頂いている。 | 利用者の好みに合せたメニューを給食委員が作っている。利用者と職員と一緒に毎日食材の買出し、調理を行い共に味わっている。又食後の後片付けの利用者の役割も決まっており、下げ膳や床の清掃など手際よく行なわれている。 |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている             | 食事・水分摂取量・把握を徹底して行っている。その方に応じた食事形態で提供している。必要に応じて栄養補助食品等も用いている。毎月体重測定を行い健康管理を行っている。  |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                      | 毎食後の歯磨きを促し、状況に応じて洗口液を使用してうがいや口腔清拭等行っている。歯科受診や、訪問歯科の依頼も行っている。   |  |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|----|------|--|---|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 一人ひとりの排泄パターンと排泄前後の行動を把握しながら可能な限りトイレでの排泄の自立を支援している。  | 高齢化が進む中でも、利用者一人ひとりの適宜なトイレ誘導で、オムツやパット等の使用を抑える事が出来ている。排泄パターンの把握や誘導等の排泄の支援が適切に行なわれており、綿パンツのみで過ごす利用者もいる。 |                   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 朝の体操促しや水分摂取量把握に努めている。排便困難者にはNSよりその時の状態に合わせた下剤を使用し調整されている。ヨーグルトにオリゴ糖やバナナを入れ便秘予防に取り組んでいる。           |  |                   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | 利用者様の状態を確認し希望の時間を聞いたり、タイミングに合わせて入浴していただいている。  | 利用者の希望で毎日、午前でも午後でも希望の時間帯で入浴を楽しむ事が出来るが、平均すると週3日の入浴となっている。入浴剤で趣向を凝らし、楽しんでもらっている。                       |                   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 一人ひとりの生活習慣に応じ休憩したり日中は、散歩やレク活動取り入れ安眠出来るように支援している。また眠れない時は飲み物を提供したり話を傾聴し安眠出来るように支援している。             |  |                   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 服薬ファイルを活用している。処方内容の変更や臨時薬処方時には、申し送りや記録を徹底して行いミスが無いよう努めている。服薬内容、副作用について全職員が把握し一般状態の観察を行っている。       |  |                   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 調理当番や掃除などの役割を持って頂き張り合いのある生活を送って頂けるよう支援している。気分転換を図っていただく為外出や行事等を企画し参加を促している。                       |  |                   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 買い物や散歩など気分転換も兼ねて外出したり、外食やおやつを食べに行ったり町内の祭りや行事にも参加している。また季節の行事としてピクニック、日帰り温泉を取り入れて家族も一緒に行事に参加されている。 | 日常的な散歩や日用品・食材の買出しの支援の他に、外食や地域の行事参加、四季に合わせた観光地へのドライブ、家族も参加する日帰り温泉等の支援を行ない、利用者の気分転換・ストレス発散等に努めている。     |                   |



| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----|------|--|--|--|-------------------|
|    |      |  | 実践状況   | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 個人の買い物購入時支払いにはスタッフと一緒にご本人様にも行って頂けるよう支援している。基本的には施設側で管理しているが希望や状態に応じてお金を所有して頂いている。              |  |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | プライバシーに配慮しながら電話を取り次いでいる。希望があれば随時自室等で電話を掛け話をして頂いている。また、要望時には家族や知人への通信のお手伝いもしている。                |  |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている   | リビングや廊下等に入居者様が作成した壁画や写真を貼り、玄関に花を飾ったりする事により季節感を演出している。利用者様の混乱を防ぐためにテーブルに名札を置いたり、鏡を被ったり等対応をしている。 | 共用空間は明るく快適になっている。リビングにはゆっくり寛げるようにテーブルやソファが配置されている。壁面に飾りつけられている利用者の貼り絵や切り絵の作品や写真等が季節を感じさせる。室温は適切にコントロールされており、居心地よく過ごせる空間となっている。 |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 入居者様一人ひとりをご自分の空間を確保しているが気分により好きな場所に自由に座る事が出来る様ソファを置きくつろげる空間を多く確保している。                          |  |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室、或いは泊まりの部屋は、プライバシーを大切にし本人や家族と相談しながら、居心地よく、安心して過ごせる環境整備の配慮がされている(グループホームの場合)利用者一人ひとりの居室について、馴染みの物を活かしてその人らしく暮らせる部屋となるよう配慮されている(小規模多機能の場合)宿泊用の部屋について、自宅とのギャップを感じさせない工夫等の取組をしている | ご本人が長年愛用してきた物や家族との思い出の写真などを持ち込んだりして頂いたり自作の塗り絵等を飾ったりして心地よく暮らしていける様配慮している。                       | 利用者の馴染みの筆筒・鏡台・洋服掛けなどが持ち込まれている。壁には思い出の写真やぬり絵などが飾ってある。居室担当者が利用者と工夫しながら居心地よく暮らしていけるよう配慮している。                                      |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | リビングのテーブル、台所シンクは一般的な高さであるが、個々の状態に合わせて可動式のテーブルを用いている。居室内にはご本人の状態に合わせた配置に配慮している。                 |  |                   |